



W.S.T. LE *for I-O DATA*

A Windows based utility for exercising and validating the stability of a system's overall performance.

User's Guide

**Ultra-X, Inc.
Professional PC Diagnostic Tools**

お客様へ

Ultra-X Inc. (米国カリフォルニア州サンタクララ)
株式会社ウルトラエックス

ご使用にあたっては以下の「ご使用条件」を必ずお読みください。この「ご使用条件」を承諾されない場合は、プログラムをダウンロードや実行することなく、全ての資料とともにプログラムを破棄してください。プログラムをダウンロードするか、プログラムを使用した場合には、お客様は「ご使用条件」を承諾されたものとします。
なお、このプログラムは多くの PC ユーザーの方に気軽にお使い頂ける事を目的として配布しております。そのため、業務上の使用は一切認めておりません。また、テクニカルサポートを含め、お問い合わせにはお答えできません。

Ultra-X Inc. 「W.S.T. LE」のご使用条件

このプログラムは弊社がその著作権を専有し、お客様に対し条件によりその使用を許諾するものです。

使用権の内容

1. お客様は日本国内でお客様自身がご使用のコンピュータにおいて、個人的目的でのみプログラムを使用することができます。なお、プログラムをネットワークで送信または受信して利用することはできません。
また、プログラムを製造ラインでのテスト目的での使用、有償無償を問わず、お客様の顧客所有または顧客使用のコンピュータへのプログラムの使用、お客様が販売、貸与その他により顧客を含み他に提供または使用させるコンピュータへのプログラムの使用は、別途の弊社との契約が必要になります。(この点に関するご質問、詳細につきましては、弊社 wstle@uxd.co.jp までお問い合わせください。)
2. このプログラムは、Windows 製品にマルチスレッドで負荷を与え、Windows やドライバの安定性やパフォーマンスを検査することをその主な機能としています。このプログラムによるテストを実施した場合、システムクラッシュによるデータ等の消失やハードディスクの破損の可能性などシステム全体にわたり様々なトラブルが発生することがあり得ます。従って、お客様は、データのバックアップを含みこのようなトラブルに対する措置、あらかじめ取られるものとします。
3. お客様はプログラムをダウンロードされたあと、2 週間以内にユーザー登録をして下さい。ユーザー登録は、弊社ホームページ (<http://www.uxd.co.jp/>) にて必要事項をご登録ください。
ユーザー登録をされないとこのプログラムに対して弊社が任意で行うことのある製品情報提供を受けられないことがあります。
4. お客様による複製はバックアップのための一部のみに限られます。その場合、著作権表示を消すことなく、オリジナルと同様に複製表示して下さい。
5. お客様はプログラムの使用権を他に譲渡、貸与その他いかなる処分も出来ません。
6. お客様は、逆解析、逆コンパイルその他の手段により、このプログラムのソースを取得しようとしてはなりません。
7. その他、このプログラムは現存するままの状態でお客様に使用許諾されるものであり、弊社および販売店は日本国民法上の瑕疵担保責任を含み、一切の保証もせず、かつ、いかなる賠償責任も負いません。
8. 使用条件に従わない使用をされた場合には、弊社は使用許諾を取り消す事ができます。

以上

ユーザー登録

ユーザー登録は弊社ホームページ <http://www.uxd.co.jp/> から行います。

ご注意

このマニュアルで説明するソフトウェアは、“ご使用条件”に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。

各社 Web サイトへのリンクが含まれていますが、このリンクの内容に関しては、弊社は一切の責任を負いません。お客様の責にてアクセスを行ってください。サイトへのリンクは技術的な情報の参照を目的として提供されるものであり、その内容に対しての責を負うものではありません。

商標

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows 98、Windows Me、Windows NT、Windows 2000、Windows XP、Internet Explorer、DirectX、Direct3D、DirectPlay、Direct Music は**米国** Microsoft Corporation の**米国及びその他の国**における登録商標または商標です。

Windows の正式名称は Microsoft® Windows® operating system です。

その他の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文中には、™および®マークは明記していません。

初版：2005 年 4 月 Ver.1.5.0.

Ultra-X, Inc.: 1765 Scott Blvd., Suite 101, Santa Clara, CA 95050, USA

株式会社ウルトラエックス 〒101-0021 東京都千代田区外神田 5-1-15-301

目次

お客様へ	2
Ultra-X Inc. 「W.S.T. LE」のご使用条件	2
使用権の内容	2
ユーザー登録	2
ご注意	3
商標	3
目次	4
はじめに	6
概要	6
動作環境	6
W.S.T.を使うために	7
インストール	7
アンインストール	7
使用方法	8
W.S.T.の起動	8
メインウィンドウ	9
ファイル メニュー	9
オプション メニュー	9
テスト メニュー	10
情報 メニュー	10
言語 メニュー	11
ヘルプ メニュー	11
システム情報 ボタン	11
設定 ボタン	11
開始 ボタン	11
言語 ボタン	11
www.uxd.com ボタン	11
テスト設定ウィンドウ	12
全体 タブ	12
プロセッサ タブ	13
ドライブとメモリ タブ	14
グラフィックとサウンド タブ	15
ネットワーク タブ	16
プリンタとポート タブ	17
動作設定タブ	18
システム情報ウィンドウ	19
ワークステーション タブ	19
オペレーティングシステム タブ	20
CPU タブ	21
メモリ タブ	21
ディスプレイ タブ	22
ドライブ タブ	24
デバイス タブ	25
ネットワーク タブ	26
メディア タブ	27
APM タブ	28
プリンタ タブ	29
エンジン タブ	29
タイムゾーン タブ	30

Software タブ	30
「保存」ボタン	31
「印刷」ボタン	31
「OK」ボタン	31
言語設定ウィンドウ	32
ストレス・テスト	33
テスト開始	33
テスト終了	33
テストウィンドウ	34
CPU パフォーマンス	34
FPU パフォーマンス	35
MMX パフォーマンス	36
ハードディスク	37
フロッピーディスク	38
CD-ROM ドライブ	39
物理メモリ	40
2D グラフィックス	41
3D グラフィックス	41
サウンド・動画	42
ネットワーク	43
プリンタ	43
COM ポート	44
LPT ポート	44
使用リソース	45
詳細情報ウィンドウ	46
CPU	46
FPU	47
MMX	48
ハードディスク	49
フロッピーディスク	51
CD-ROM	53
メモリ	54
ネットワーク	55
プリンタ	56
シリアルポート	57
パラレルポート	58
サマリー	59
テストログウィンドウ	60
テストログリストボックス	60
メインメニュー ボタン	60
テスト開始 ボタン	60
テスト終了 ボタン	60
MEMO	61

はじめに

概要

この度は W.S.T. LE をダウンロード頂き、誠にありがとうございます。

W.S.T. LE (以下 W.S.T.) は、一般的なベンチマークソフトなどとは異なり、Windows にマルチスレッドで負荷をあたえ、システムの総合性能と安定性を検証するために作られた全く新しいタイプのユーティリティソフトウェアです。

動作環境

W.S.T.を実行する前に、テストを行うシステムが次の動作環境を満たしているか確認してください。

CPU

Intel Pentium II プロセッサー以降、または互換 CPU

RAM

インストールされている Windows に必要な RAM 容量

OS

Windows 2000 SP4、Windows XP Home、Windows XP Professional

ディスプレイ

800×600、16bit ハイカラー以上の解像度

ブラウザ

インターネットエクスプローラ Ver.5.5 以降

Direct-X

バージョン 6.0 以降

注意

W.S.T.を実行する前に、すべてのアプリケーション、常駐ソフト等は終了してください。

また、テストにより Windows が不安定になる場合がありますので、重要なファイル等は他の媒体にバックアップを取ってからテストを行ってください。

高負荷でテストを行うとシェルがユーザーの入力を受け付けなくなる場合があります。その場合は、タスクマネージャー等で W.S.T.を強制終了するか、W.S.T.のタイマー機能を使用し、終了するまでお待ちください。終了できなくなった場合は、システムをリセットしてください。

OS がクリーンインストールされたシステム環境のみサポートしています。アプリケーションのインストールの状態やドライバーや Windows の設定によっては正常に動作しないこともあります。

Windows の設定やドライバー等に問題がある安定性が低いシステムでは、テスト中にエラーが発生したり、ハングアップ等システム全体がフリーズする場合があります。

W.S.T.を使うために

W.S.T.を実行する前に、ハードディスクに 15M バイト以上の空き領域がある事を確認してください。
この領域は、テストレポートを保存する領域になります。
また、すべてのアプリケーションは終了してください。

インストール

このバージョンの W.S.T.は、直接実行できるように作られていますので、特にインストール作業を行う必要はありません。

ダウンロードしたファイルを解凍し、全てのファイルを適当なフォルダーにコピーしてください。
(解凍方法につきましては、お使いの解凍プログラムの説明書をお読みください。)

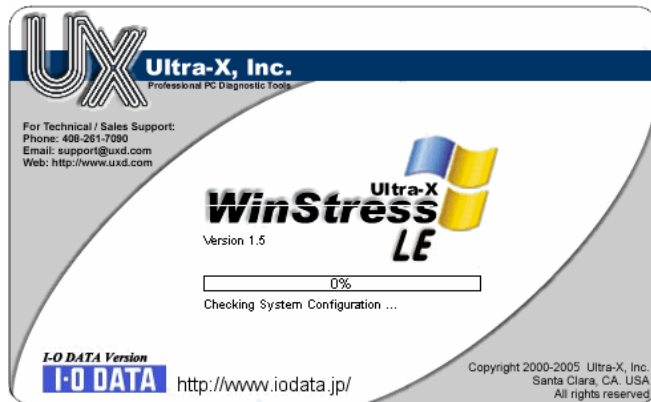
アンインストール

W.S.T.をアンインストールする場合は、コピーしたファイルを全て削除してください。

使用方法

W.S.T.の起動

W.S.T.をインストールしたフォルダーにある、“WinStress.exe”をダブルクリックすると、W.S.T.が起動します。



起動中は、スプラッシュ・スクリーンが画面に表示されます。ローディングバーが表示され、システムの設定を確認し、必要なドライバを読み込み、プログラムをセットアップして、W.S.T.を実行します。W.S.T.を読み込む時に問題が発生した場合、この段階でエラーメッセージが表示されます。

正常に起動できた場合、メインウィンドウが表示されます。メインウィンドウには、「システム情報」、「設定」、「開始」、および「言語」のボタンがあります。また、ウィンドウ上部にあるメニューを使うこともできます。



「システム情報」 ボタン

システム情報ウィンドウが開き、ハードウェア、ソフトウェアの情報を得る事ができます。

「設定」 ボタン

テスト設定ウィンドウが開き、W.S.T.が行うテスト内容の設定を変更する事ができます。

「開始」 ボタン

ストレス・テストを開始します。

「言語」 ボタン

言語設定ウィンドウが開き、W.S.T.で使用する言語を選択する事ができます。

メインウィンドウ



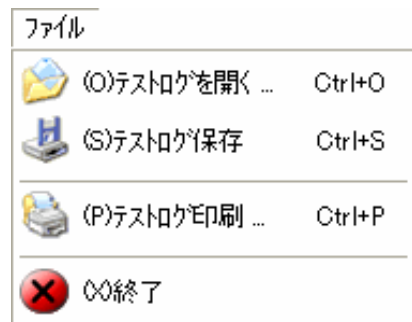
ファイル メニュー

テストログを開く

テスト結果を保存するログファイルを指定します。
既に在るログファイルを指定すると、テスト結果はそのログファイルに追加され書き込まれます。

テストログ保存

テスト結果を保存します。
「テストログを開く」で、保存するログファイルを指定していない場合は、W.S.T. がインストールされているフォルダーに、"default.log"というファイル名で保存されます。



テストログ印刷

テストログを通常使うプリンタから印刷します。

終了

W.S.T.を終了します。

オプション メニュー

設定

テスト設定ウィンドウが開き、W.S.T.が行うテスト内容の設定を変更する事ができます。

設定の読み込み

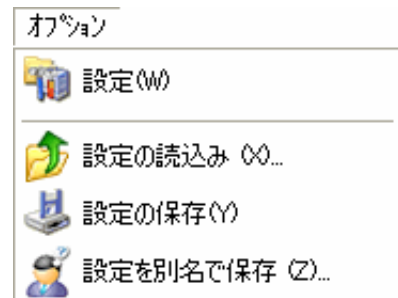
保存してある設定を読み込みます。

設定の保存

現在の設定を保存します。
ここで保存した設定は、次回 W.S.T.を起動した時に、自動的に読み込まれます。

設定を別名で保存

現在の設定を別の名前で保存します。
起動時に自動的に読み込まれる設定と別の設定を保存する場合に使用します。



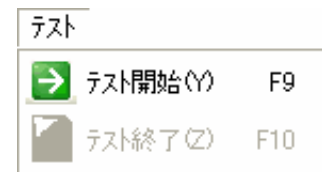
テスト メニュー

テスト開始

ストレス・テストを開始します。

テスト終了

現在行っているストレス・テストを終了します。



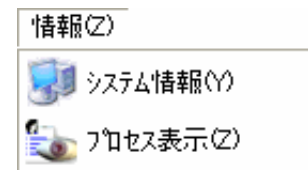
情報メニュー

システム情報

システム情報ウィンドウが開きます。

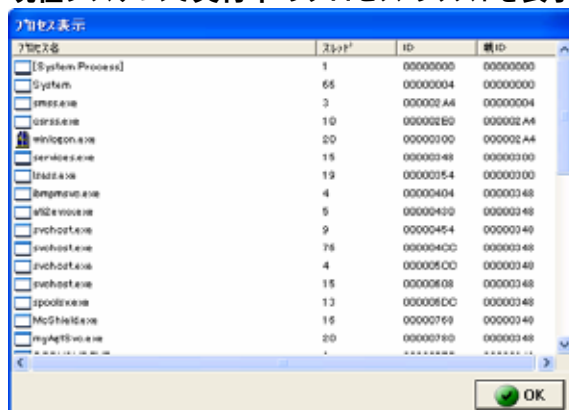
そのウィンドウから、ハード・ソフトウェア両方の、システム情報を得る事ができます。

また、そのシステム情報は画面に表示されるだけでなく、印刷やファイルに保存する事ができます。



プロセス表示

現在システムで実行中のプロセスのリストを表示します。



プロセス名

システムで実行中のプロセスの名前を表示します。

スレッド

プロセスのスレッドの数を表示します。

ID

プロセスの ID を表示します。

親 ID

親プロセスの ID を表示します。

言語 メニュー

W.S.T.で使用する言語を選択します。
英語、日本語、ポルトガル語、オランダ語、そしてドイツ語から選択する
事ができます。



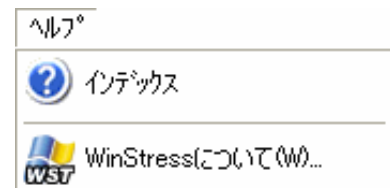
ヘルプ メニュー

インデックス

ヘルプファイルを表示します。

WinStressについて

W.S.T.のバージョンを表示します。



システム情報 ボタン

システム情報ウィンドウが開き、ハードウェア、ソフトウェアの情報を得る事ができます。

設定 ボタン

テスト設定ウィンドウが開き、W.S.T.が行うテスト内容の設定を変更する事ができます。

開始 ボタン

ストレス・テストを開始します。

言語 ボタン

言語設定ウィンドウが開き、W.S.T.で使用する言語を選択する事ができます。

www.uxd.com ボタン

ブラウザを起動し、米国ウルトラエックス社のホームページを開きます。

テスト設定ウィンドウ

全体 タブ

WST が行うテストを選択します。

テスト項目の右側にあるチェックボックスがオンの項目のテストを行います。



標準

標準のテスト項目と、テスト負荷率に設定します。

全てオン

全てのテスト項目のチェックボックスをオンにします。

全てオフ

全てのテスト項目のチェックボックスをオフにします。

回数

テストを行う時間を分単位で設定します。

W.S.T. LE は、10 分まで設定可能です。

(0 または、10 分以上に設定した場合、10 分経過した時点で自動的にテストが終了します。)

テスト負荷率

ウィンドウズに掛ける負荷の割合を 1 から 100 の間で設定します。標準設定は 50 です。

負荷を高くした場合、システムが反応しなくなる場合があります。

また、負荷を低く設定した場合、W.S.T.の終了までに非常に時間が掛かる場合があります。

その場合は、タスクマネージャーで W.S.T.を終了してください。

プロセッサ タブ

プロセッサに対して行うテストを選択します。

CPU演算

データ移動

MOV、XCHG 等、データ移動命令を使用したテストを行います。

算術演算

ADD、SUB、INC、DEC 等、算術演算命令を使用したテストを行います。

シフトローテート演算

SHR、SHL、ROR、ROL 等、シフトローテート演算命令を使用したテストを行います。

論理・ビット演算

AND、OR、XOR、TEST 等、論理・ビット演算命令を使用したテストを行います。



FPU演算

データ移動

FLD、FSTP、FILD、FISTP 等、浮動小数点データ移動命令を使用したテストを行います。

算術演算

FADD、FSUB、FIADD、FISUBR 等、浮動小数点算術演算命令を使用したテストを行います。

平方根

FSQRT 命令を使用したテストを行います。

三角関数

FSIN と FCOS 命令を使用したテストを行います。

MMX演算

データ移動

MOVD と MOVQ 命令を使用したテストを行います。

算術演算

PADDB、PADDW、PSUBB、PSUBW 等、MMX 算術演算命令を使用したテストを行います。

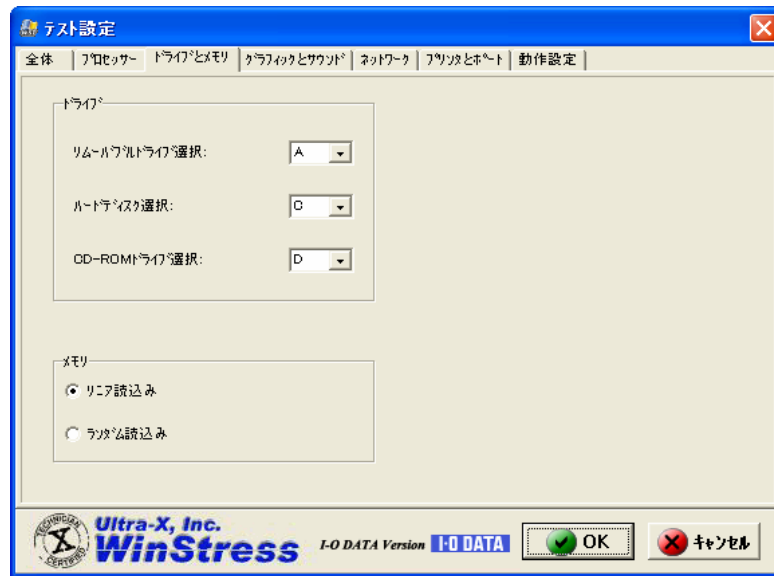
シフト演算

PSLLW、PSLLD、PSRLW、PSRRLQ 等、MMX シフト演算命令を使用したテストを行います。

論理演算

PAND、POR、PXOR 等、MMX 論理演算命令を使用したテストを行います。

ドライブとメモリ タブ



ドライブ

テストするドライブを選択します。

リムーバブルドライブ、および CD-ROM ドライブをテストする場合は、各ドライブにメディアが挿入されている事を確認してください。

リムーバブルドライブ選択:

フロッピーディスクドライブ、MO や、コンパクトフラッシュ等、リムーバブルドライブを選択します。

ハードディスク選択:

ハードディスクを選択します。

CD-ROM ドライブ選択:

CD-ROM ドライブを選択します。

メモリ

メモリのアクセス方法を選択します。

グラフィックとサウンド タブ



2Dグラフィック

2D グラフィックのテスト項目を選択します。

ライン

直線を描画して 2D グラフィックのテストを行います。

矩形

矩形を描画して 2D グラフィックのテストを行います。

楕円

楕円を描画して 2D グラフィックのテストを行います。

テキスト

テキストを描画して 2D グラフィックのテストを行います。
テストで使用するテキストを指定する事ができます。

3Dグラフィック

テストで使用する API を選択します。

OpenGL 使用

OpenGL を使用して 3D グラフィックスのテストを行います。

DirectX 使用

DirectX を使用して 3D グラフィックスのテストを行います。

DirectX を選択した場合は、テストで使用する画像を指定する事ができます。画像ファイル名を指定するか、「Browse」ボタンをクリックして、画像ファイルを選択します。

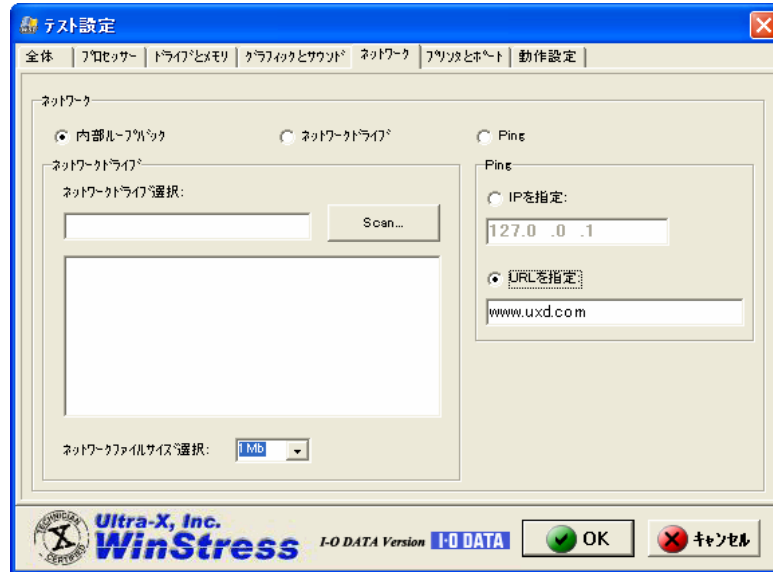
サウンド・動画

テスト再生で使用するサウンド・動画ファイルを指定します。

再生するファイル名を指定するか、「参照」ボタンをクリックして再生するファイルを選択します。

ネットワーク タブ

ネットワークのテスト方法を選択します。



内部ループバック

内部ループバックを使用しテストを行います。

ネットワークドライブ

ネットワークドライブに対してファイルのアップロード、ダウンロードを行いテストします。

ネットワークドライブ選択:

テストを行うネットワークドライブを指定するか、「Scan」ボタンをクリックし、ネットワークドライブを選択します。

ネットワークファイルサイズ選択:

アップロード、ダウンロードするファイルサイズを選択します。

Ping

Ping を使用してネットワークのテストを行います。

Ping の送り先の IP アドレス、または URL を指定します。

注意

稼働中のネットワークに対してテストを行う場合は、必ずネットワーク管理者やホスト管理者の許諾を取った上で行ってください。

また、負荷率を上げてテストを行うと、ネットワーク上のトラフィックが増大しますので、稼働中のネットワークでテストを行う場合は、十分注意してください。

プリンタとポート タブ



シリアルポート

シリアルポート選択:

テストするシリアルポートを選択します。

速度選択

通信速度を選択します。

パラレルポート

パラレルポート選択

テストするパラレルポートを選択します。

プリンタ

テストするプリンタを選択します。

「プリンタ」ボタンをクリックすると、「プリンタの設定」ウィンドウが開きます。

テスト選択

テスト印刷の内容を選択します。

テキストモードテスト

テキストモードのテスト印刷を行います。

グラフィックモードテスト

グラフィックモードのテスト印刷を行います。

カラーテスト

カラーパターンのテスト印刷を行います。

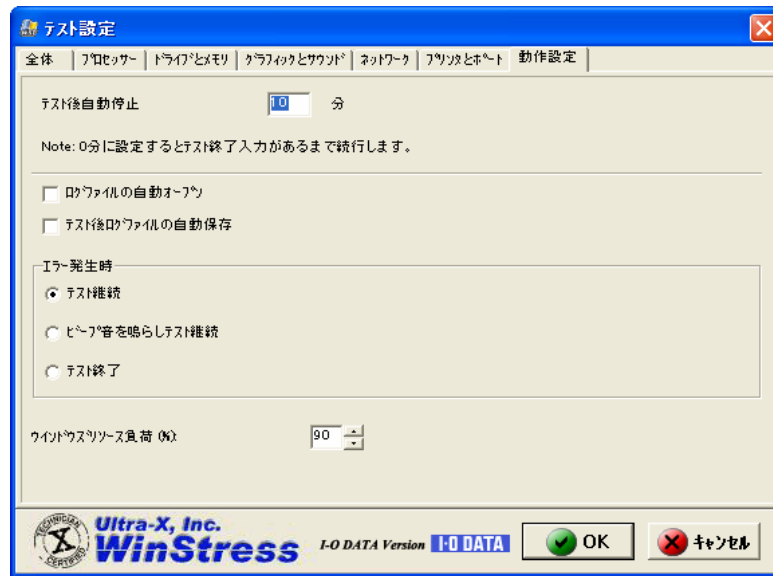
印刷枚数

テスト印刷の枚数を選択します。

注意

ポートのテストを行う時は、オプションのループバックコネクタが必要です。

動作設定タブ



テスト後自動停止

テストを行う時間を分単位で設定します。

W.S.T. LE は、10 分まで設定可能です。

(0 または、10 分以上に設定した場合、10 分経過した時点で自動的にテストが終了します。)

ログファイルの自動オープン

チェックボックスをオンにすると、W.S.T.起動時にログファイルを自動的に開きます。

テスト後ログファイルの自動保存

チェックボックスをオンにすると、テスト終了後自動的にテスト結果をログファイルに保存します。

エラー発生時

テスト中にエラーが発生した場合の動作を選択します。

テスト継続

エラーが発生した場合でも、テストを継続します。

ビープ音をならしテスト継続

エラーが発生した場合、ビープ音を鳴らし、テストを継続します。

テスト終了

エラーが発生した時点で、テストを終了します。

ウィンドウズリソース負荷

「ResLoad」ボタンをクリックした時の Windows リソース(System、User、および GDI)に対する最大負荷を設定します。

この設定は、Windows98、98SE、Me でのみ有効です。

システム情報ウィンドウ

ワークステーション タブ

ワークステーションプロパティ、BIOS 情報、起動プロパティ、および、Num ロック、Caps ロック、Scroll ロックの状態を表示します。



ワークステーションプロパティ

コンピュータ名

コンピュータの名前を表示します。

ユーザー名

現在ログオンしているユーザーの名前を表示します。

起動プロパティ

前回のブート

起動した時間を表示します。

システム経過時間

起動してから現在までの経過時間を表示します。

BIOS情報

名前

BIOS の名前を表示します。

Copyright

BIOS ベンダーのコピーライトを表示します。

日付

BIOS の日付を表示します。

拡張情報

BIOS の拡張情報がある場合表示します。

キーボードステータス

キーボードの、Num ロック、Caps ロック、Scroll ロックの状態を表示します。

オペレーティングシステム タブ

Windows のバージョン、ビルド、サービスパックのバージョンなど、Windows の情報と、システムが使用するフォルダーの場所を表示します。

「フォント」ボタンをクリックすると、Windows にインストールされているフォントのリストを表示します。

「環境」ボタンをクリックすると、ウィンドウズが使用している、環境変数を表示します。



OS情報

シリアルナンバー

Windows のシリアルナンバーを表示します。

登録ユーザー

登録ユーザーの名前を表示します。

登録会社

登録会社名を表示します。

「フォルダー」ボタン

システムが使用しているフォルダーの名前と場所を表示します。

「フォント」ボタン

インストールされているフォントを表示します。

「環境」ボタン

環境変数を表示します。

CPU タブ



CPUプロパティ

システムに搭載されている CPU のプロセッサ ID、クロックスピード、バス周波数など、CPU の情報を表示します。

W.S.T.はマルチプロセッサに対応しており、それぞれの CPU の情報を表示する事ができます。

フューチャー

CPU が備えている機能を表示します。

キャッシュとTLB

キャッシュの情報を表示します。

メモリ タブ



メモリ概要

物理メモリ、ページファイル、仮想メモリ、メモリの使用率を表示します。

システムメモリ

メモリの詳細情報を表示します。

ディスプレイ タブ



グラフィックアダプタプロパティ

グラフィックアダプタの選択

システムに2枚以上グラフィックアダプタが搭載されている場合、情報を表示するグラフィックアダプタを選択します。

チップセット

グラフィックアダプタのチップセットを表示します。
(情報が無い場合は表示されません。)

DAC

DAC の周波数を表示します。
(情報が無い場合は表示されません。)

メモリ

ビデオメモリーのサイズを表示します。
(情報が無い場合は表示されません。)

ディスプレイプロパティ

テクノロジー

使用されているディスプレイテクノロジーを表示します。

メトリック

現在の画面の解像度と色数を表示します。

フォント解像度

フォントの解像度を表示します。

カラープレーン数

カラープレーン数を表示します。

ピクセル幅

ピクセル高

ピクセル対角線

ピクセルのサイズを表示します。

ボタン

モード

現在のグラフィックアダプタがサポートしている画面モードを表示します。

カーブ

現在のグラフィックアダプタがサポートしている曲線機能を表示します。

ライン

現在のグラフィックアダプタがサポートしているライン機能を表示します。

ポリゴン

現在のグラフィックアダプタがサポートしているポリゴン機能を表示します。

ラスタ

現在のグラフィックアダプタがサポートしているラスタ機能を表示します。

ドライブ タブ



選択ドライブ

情報を表示するドライブを選択します。

全体情報

ドライブのタイプ (Fixed、Removable、または CD-ROM)、シリアルナンバー、およびファイルシステムの種類を表示します。

ドライブフューチャー

ドライブがサポートしている機能を表示します。

全ドライブ

全てのドライブのサイズと空き領域のサイズを表示します。

デバイス タブ



システムに接続されている、すべてのデバイスの情報を表示します。

「利用可能デバイス」リストに表示されているカテゴリーの左側の「+」マークをクリックすると、サブカテゴリーが表示されます。

サブカテゴリーに表示されたデバイスをクリックし選択すると、右側の「デバイスプロパティ」に詳細情報が表示されます。

ネットワーク タブ



ネットワークアダプタ

システムにあるネットワークアダプタのリストを表示します。
「詳細情報」ボタンをクリックすると、詳しい情報が表示されます。

IPフォーマット

ネットワークアダプタの IP アドレスを表示します。

MACフォーマット

ネットワークアダプタの MAC アドレスを表示します。

ボタン

「サービス」、「プロトコル」、「クライアント」、および「WinSock 情報」のボタンをクリックすると、それぞれの詳細情報が表示されます。

メディア タブ

マルチメディア・デバイスに関する情報を表示します。



Wave入力、Wave出力

Wave 入出力デバイスの情報を表示します。

Midi入力、Midi出力

Midi 入出力デバイスの情報を表示します。

Aux

Aux デバイスの情報を表示します。

ミキサー

ミキサーの情報を表示します。

ジョイスティック

ジョイスティックの情報を表示します。

利用可能デバイス

情報を表示するデバイスをドロップリストより選択します。

フォーマット

選択したデバイスがサポートしているフォーマットを表示します。

サポート

デバイスがサポートしている機能を表示します。

APM タブ

Advanced Power Management に関する情報を表示します。



APM情報

AC 電源の状態、およびバッテリーの充電状態を表示します。

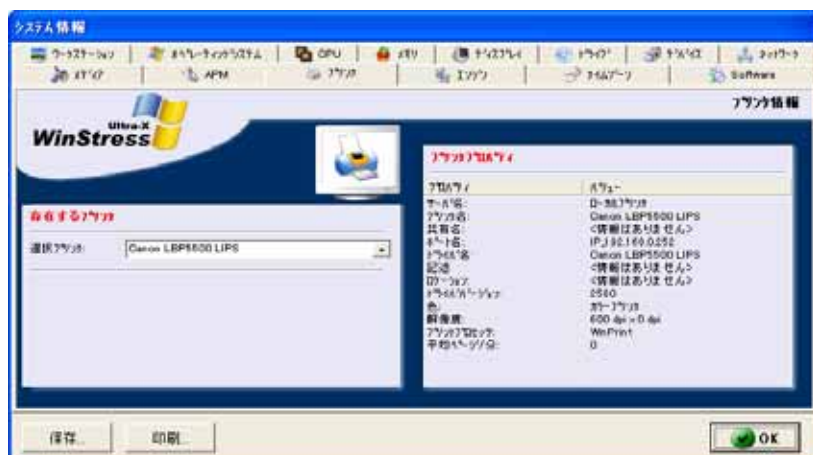
バッテリー情報

バッテリーの全ライフタイム、ライフタイム (使用可能時間)、およびバッテリーの容量を表示します。

プリンタ タブ

システムにインストールされているプリンタの情報を表示します。

システムに複数のプリンタがインストールされている場合には、「選択プリンタ:」ドロップリストより選択します。



エンジン タブ

システムにインストールされている、データベースエンジンの情報と、DirectX の情報を表示します。



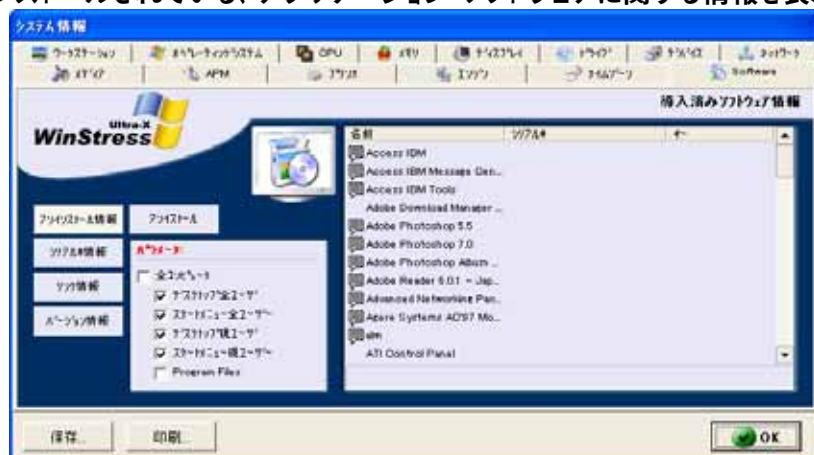
タイムゾーン タブ

現在の日付、および時間を表示します。



Software タブ

システムにインストールされている、アプリケーション・ソフトウェアに関する情報を表示します。



アンインストール情報

インストールされているソフトウェアのリストを表示します。

アンインストール情報を表示している時には、不要なソフトウェアを選択し、「アンインストール」ボタンをクリックする事により、アンインストールを行う事ができます。

シリアル情報

インストールされているソフトウェアのシリアルナンバーを表示します。

リンク情報

インストールされているソフトウェアのパスを表示します。

バージョン情報

インストールされているソフトウェアのバージョンを表示します。

「保存」ボタン

システム情報を html 形式のファイルとして保存します。

Quick Inventory

システム情報の概要を保存します。

全情報

システム情報ウィンドウで表示される全ての情報を保存します。

現在のタブ

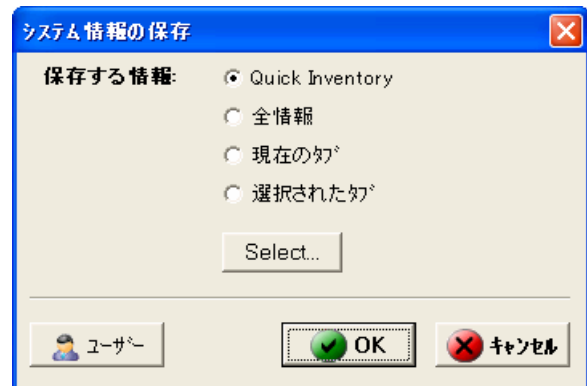
現在システム情報ウィンドウで表示されているタブの情報のみ保存します。

選択されたタブ

必要なタブの情報のみ選択して保存します。
「Select」ボタンをクリックして、保存するタブを選択します。

「ユーザー」ボタン

保存されるレポートに記載されるユーザー名を指定します。
指定しない場合は、現在ログオンしているユーザー名になります。



「印刷」ボタン

システム情報を通常使うプリンタから印刷します。

Quick Inventory

システム情報の概要を印刷します。

全情報

システム情報ウィンドウで表示される全ての情報を印刷します。

現在のタブ

現在システム情報ウィンドウで表示されているタブの情報のみ印刷します。

選択されたタブ

必要なタブの情報のみ選択して印刷します。
「Select」ボタンをクリックして、印刷するタブを選択します。

「ユーザー」ボタン

印刷されるレポートに記載されるユーザー名を指定します。
指定しない場合は、現在ログオンしているユーザー名になります。



「OK」ボタン

システム情報ウィンドウを閉じ、メインウィンドウに戻ります。

言語設定ウィンドウ

W.S.T.が使用する言語を選択します。



右下の矢印をクリックすると、メインウィンドウに戻ります。

ストレス・テスト

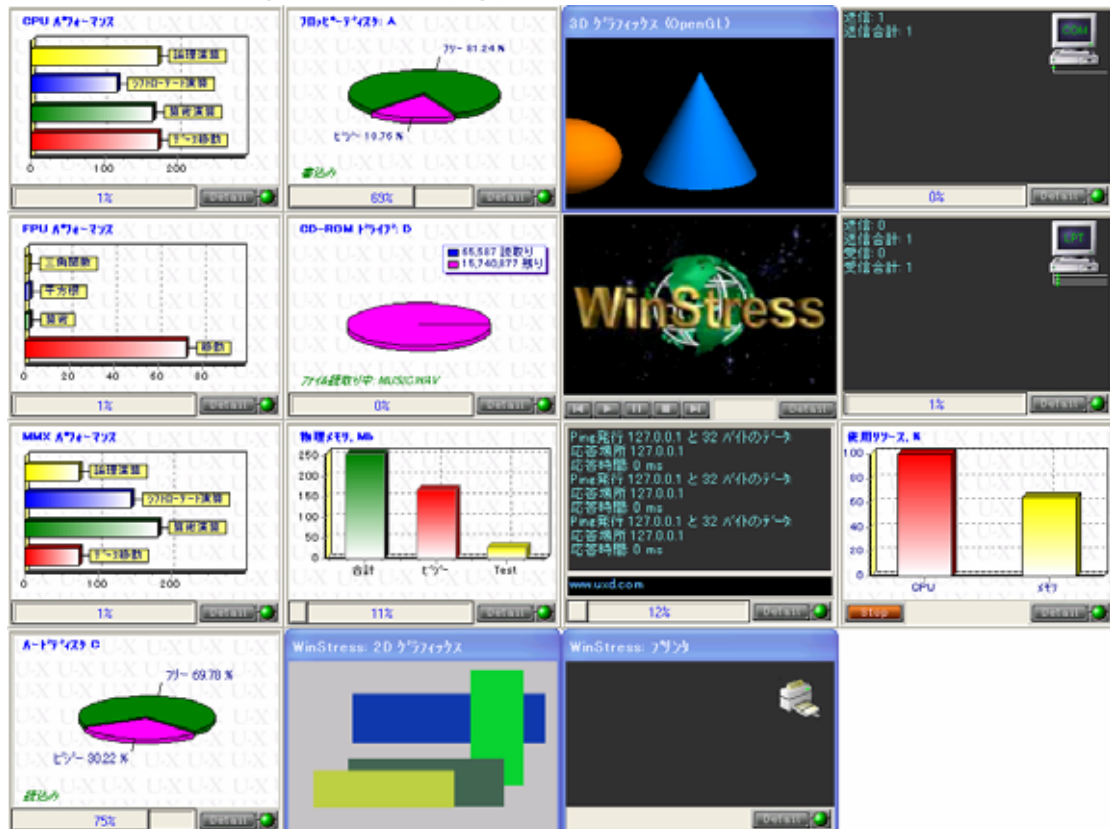
テスト開始

テストメニューの「テスト開始」、またはメインウィンドウの「開始」ボタンをクリックすると、ストレス・テストを開始します。

テスト中は、各テストウィンドウが現れ、テストの進行状況を表示します。

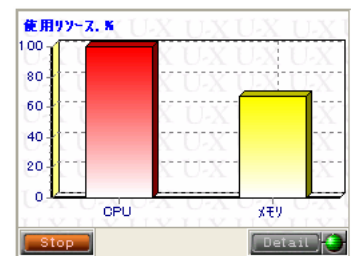
ストレス・テストは、設定したテスト時間が経過するか、「テスト終了」ボタンが押されるまで、繰り返し実行されます。

(W.S.T. LE のテスト時間は、最長 10 分間です。)



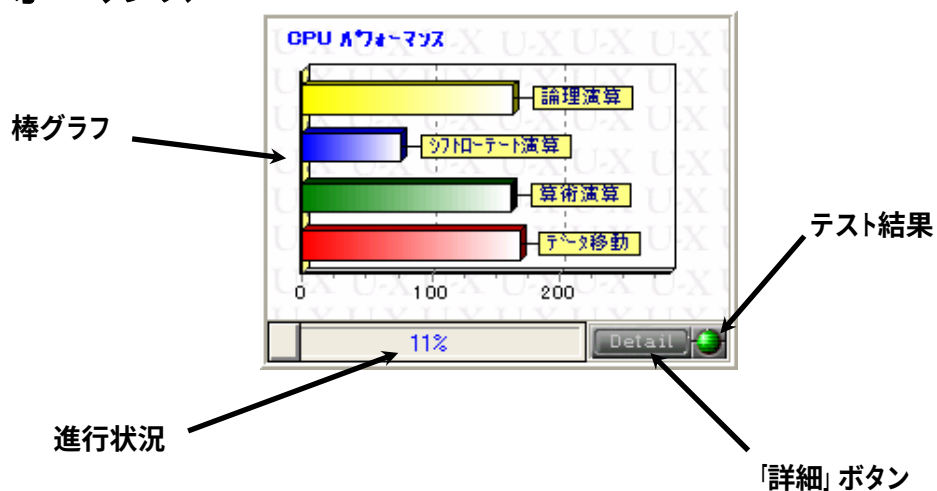
テスト終了

「使用リソース」ウィンドウの左下にある「Stop」ボタン、またはバックグラウンドのテストログウィンドウに在る「テスト終了」ボタンをクリックすると、ストレス・テストは終了します。



テストウィンドウ

CPU パフォーマンス



棒グラフ

テスト設定ウィンドウのプロセッサタブで選択したテストの値を表示します。
テスト名はそれぞれのバーの右側に表示されます。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

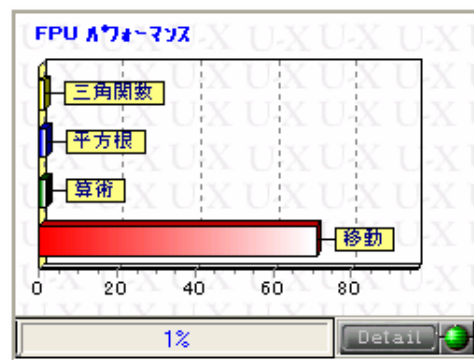
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色を表示します。

FPU パフォーマンス



棒グラフ

テスト設定ウィンドウのプロセッサタブで選択したテストのパフォーマンスを表示します。
テスト名はそれぞれのバーの右側に表示されます。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

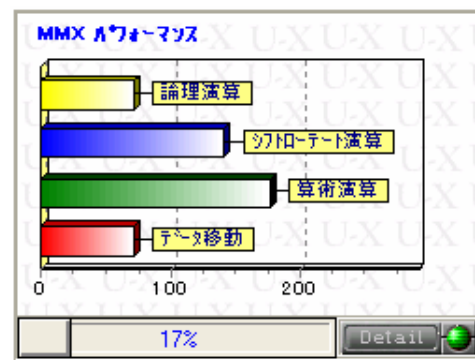
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

MMX パフォーマンス



棒グラフ

テスト設定ウィンドウのプロセッサタブで選択したテストのパフォーマンスを表示します。
テスト名はそれぞれのバーの右側に表示されます。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

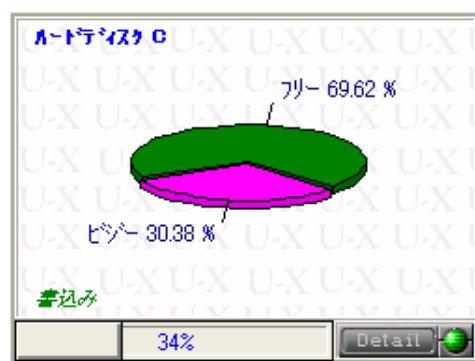
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

ハードディスク



ラベル

左上にテスト対象のドライブレターが表示されます。

左下には、行っているテスト(書き込み、または読込み)が表示されます。

円グラフ

テスト対象ハードディスクの、使用済み／未使用ディスクスペースを円グラフで表示します。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

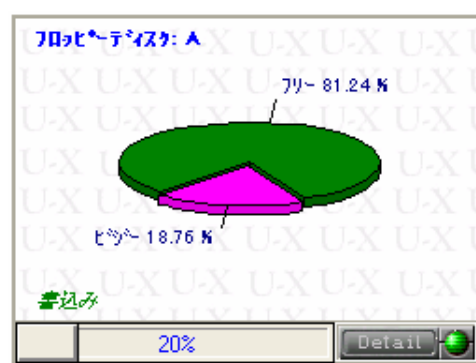
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

フロッピーディスク



ラベル

左上にテスト対象のドライブレターが表示されます。

左下には、現在行っているテスト (書込み、または読込み) が表示されます。

円グラフ

テスト対象ディスクの、使用済み／未使用ディスクスペースを円グラフで表示します。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

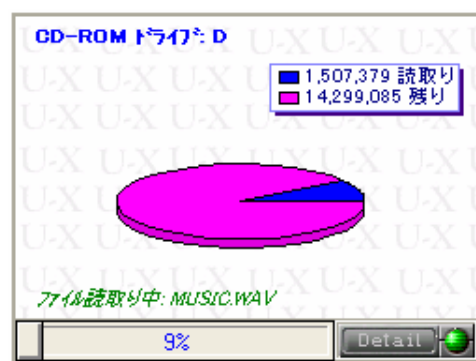
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

CD-ROM ドライブ



ラベル

左上にテスト対象のドライブレターが表示されます。
左下には、現在読み込んでいるファイル名が表示されます。

円グラフ

テスト対象ディスクの、読取り済みバイト数、残りバイト数を円グラフで表示します。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

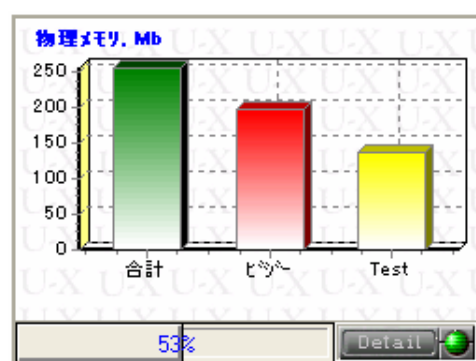
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

物理メモリ



棒グラフ

全メモリー容量、使用済みメモリー容量、およびテスト済みメモリー容量を表示します。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

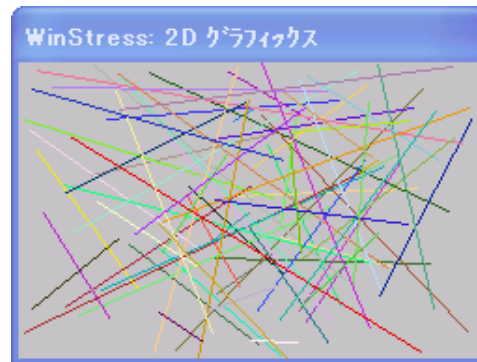
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

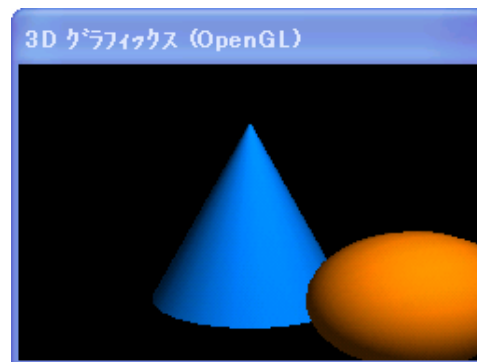
テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

2D グラフィックス



テスト設定ウィンドウの「グラフィックとサウンド」タブで選択したパターン（ライン、矩形、楕円、およびテキスト）をランダムに描画します。

3D グラフィックス



テスト設定ウィンドウの「グラフィックとサウンド」タブで選択した API (OpenGL または、DirectX) を使用して、3D の描画テストを行います。

OpenGL を選択した場合は、三角すいの周りを回るボールを描画します。

DirectX を選択した場合は、回転する立方体を描画します。

サウンド・動画

テスト設定ウィンドウの「グラフィックとサウンド」タブで選択したファイルを再生します。



プレイヤーボタン

プレイヤーを操作するボタンです。次のボタンがあります。

-  ファイルの先頭に戻る。
-  再生
-  ポーズ
-  ストップ
-  ファイルの終わりに進む。

「詳細」ボタン

再生しているビデオを全画面表示します。

ネットワーク



テキストウィンドウ

現在進行中のテストの状況を表示します。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

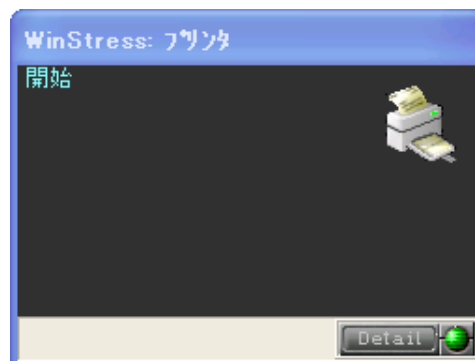
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

プリンタ



テキストウィンドウ

現在進行中のテストの状況を表示します。

「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

COM ポート



テキストウィンドウ

現在進行中のテストのメッセージを表示します。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

LPT ポート



テキストウィンドウ

現在進行中のテストのメッセージを表示します。

進行状況

テストの進行状況をパーセントで表示します。

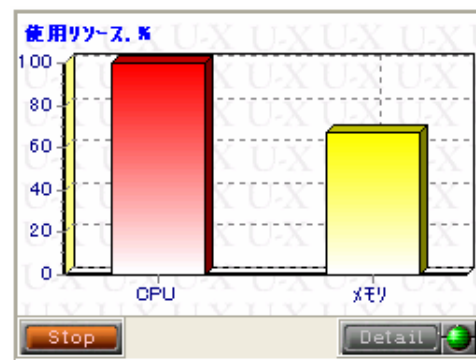
「詳細」ボタン

詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

使用リソース



棒グラフ

リソースの使用率を表示します。

- 赤 CPU の使用率
- 黄 物理メモリの使用率
- 緑 GDI リソースの使用率
- 青 システムリソースの使用率
- 紫 ユーザーリソースの使用率

※ GDI、システム、およびユーザーリソースは、Windows98、98SE、および Me のみ表示されます。

「Stop」ボタン

ストレス・テストを終了します。

「ResLoad」ボタン

Windows リソース (GDI、システム、およびユーザー) の負荷 (使用率) を増やします。

このボタンは、Windows98、98SE、Me のみ表示されます。

※ 負荷を増やすと、プログラムが反応しなくなる等、システムが不安定になる場合があります。

「詳細」ボタン

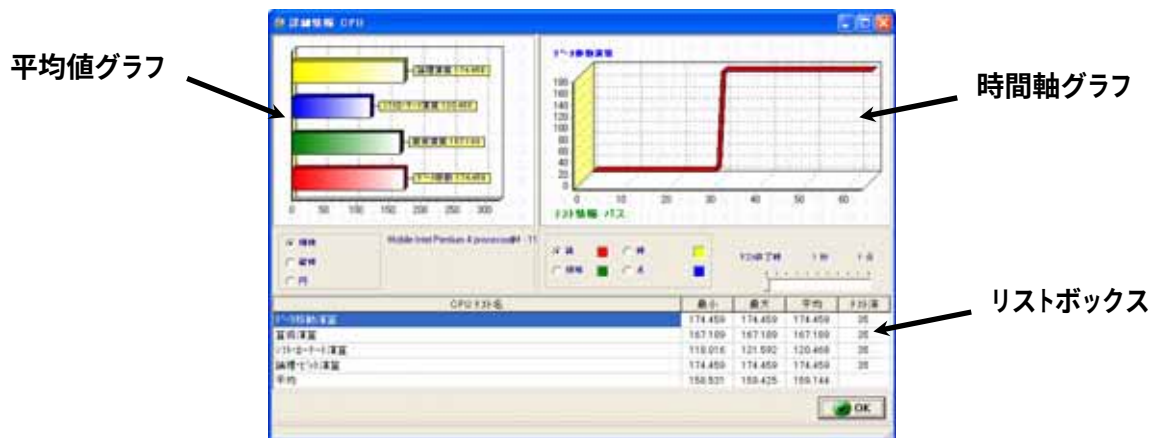
詳細情報ウィンドウを開きます。

テスト結果表示

テスト結果を表示します。エラーが無い場合は緑色を表示し、エラーが発生した場合は赤色になります。

詳細情報ウィンドウ

CPU



平均値グラフ

テスト設定ウィンドウのプロセッサタブで選択したテストの平均値を表示します。
表示するグラフの形式を「横棒」、「縦棒」および、「円」グラフから選択します。

時間軸グラフ

テストリストから選択したテストの単位時間当たりの結果を連続的に表示します。
グラフは1回のテストが終る毎に更新されますが、スライダーにより最大1分間隔まで、任意の間隔を設定する事ができます。
グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。
また、各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

リストボックス

テスト毎の最小値、最大値、および平均値を表示します。

FPU



平均値グラフ

テスト設定ウィンドウのプロセッサタブで選択したテストの平均値を表示します。
表示するグラフの形式を「横棒」、「縦棒」および、「円」グラフから選択します。

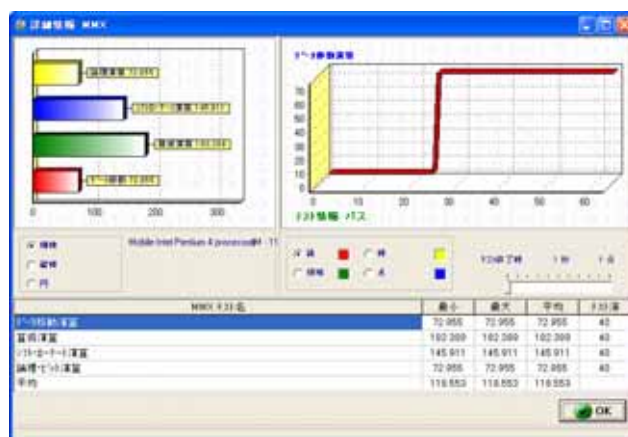
時間軸グラフ

テストリストから選択したテストの単位時間当たりの結果を連続的に表示します。
グラフは1回のテストが終る毎に更新されますが、スライダーにより最大1分間隔まで、任意の間隔を設定する事ができます。
グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。
また、各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

リストボックス

テスト毎の最小値、最大値、および平均値を表示します。

MMX



平均値グラフ

テスト設定ウィンドウのプロセッサタブで選択したテストの平均値を表示します。
表示するグラフの形式を「横棒」、「縦棒」および、「円」グラフから選択します。

時間軸グラフ

テストリストから選択したテストの単位時間当たりの結果を連続的に表示します。
グラフは1回のテストが終わる毎に更新されますが、スライダーにより最大1分間隔まで、任意の間隔を設定する事ができます。
グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。
また、各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

リストボックス

テスト毎の最小値、最大値、および平均値を表示します。

ハードディスク



時間軸グラフ

ハードディスクのデータ転送速度を連続的に表示します。

データ更新間隔

グラフは 1 回のテストが終わる毎に更新されますが、データ更新間隔スライダーを調整する事により最大 1 分間隔まで、任意の間隔を設定する事ができます。

グラフ形式

グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。

各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

値を表示

グラフに数値を表示します。

プロパティ

シリアルナンバー

ハードディスクのシリアルナンバーを表示します。

容量

ハードディスクの容量を表示します。

空き領域

ハードディスクの空き領域のサイズを表示します。

チェックボックス

ハードディスクがサポートしている機能を表示します。

リストボックス

最小、最大、平均読み込み速度

ハードディスクの、最小、最大および、平均読み込み速度を表示します。

最小、最大、平均書き込み速度

ハードディスクの、最小、最大および、平均書き込み速度を表示します。

テスト終了

テストの進行状況をパーセントで表示します。

バイト／セクタ

1 セクタあたりのバイト数を表示します。

セクタ／クラスタ

1 クラスタあたりのセクタ数を表示します。

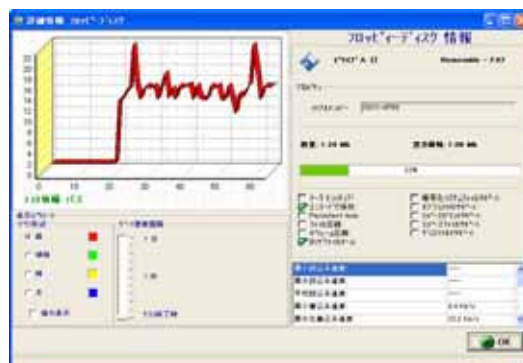
全クラスタ

ハードディスクに在る、全クラスタの数を表示します。

空きクラスタ

ハードディスクに在る、未使用のクラスタの数を表示します。

フロッピーディスク



時間軸グラフ

フロッピーディスクのデータ転送速度を連続的に表示します。

データ更新間隔

グラフは 1 回のテストが終わる毎に更新されますが、データ更新間隔スライダーを調整する事により最大 1 分間隔まで、任意の間隔を設定する事ができます。

グラフ形式

グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。

各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

値の表示

グラフに数値を表示します。

プロパティ

シリアルナンバー

フロッピーディスク (メディア) のシリアルナンバーを表示します。

容量

フロッピーディスクの全容量を表示します。

空き領域

フロッピーディスクの空き領域のサイズを表示します。

チェックボックス

フロッピーディスクがサポートしている機能を表示します。

リストボックス

最小、最大、平均読み込み速度

フロッピーディスクの、最小、最大および、平均読み込み速度を表示します。

最小、最大、平均書き込み速度

フロッピーディスクの、最小、最大および、平均書き込み速度を表示します。

テスト終了

テストの進行状況をパーセントで表示します。

バイト／セクタ

1 セクタあたりのバイト数を表示します。

セクタ／クラスタ

1 クラスタあたりのセクタ数を表示します。

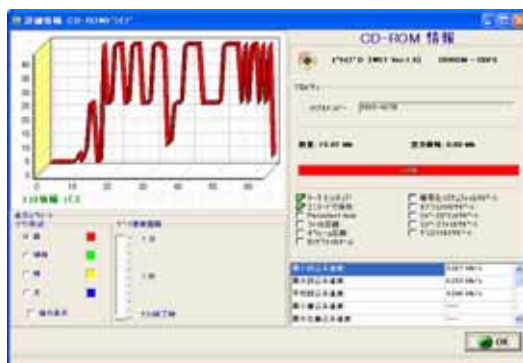
全クラスタ

フロッピーディスクに在る、全クラスタの数を表示します。

空きクラスタ

フロッピーディスクに在る、未使用のクラスタの数を表示します。

CD-ROM



時間軸グラフ

CD-ROM ドライブのデータ転送速度を連続的に表示します。

データ更新間隔

グラフは 1 回のテストが終わる毎に更新されますが、データ更新間隔スライダーを調整する事により最大 1 分間隔まで、任意の間隔を設定する事ができます。

グラフ形式

グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。

各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

値の表示

グラフに数値を表示します。

プロパティ

シリアルナンバー

CD-ROM のシリアルナンバーを表示します。

容量

CD-ROM の容量を表示します。

チェックボックス

CD-ROM ドライブがサポートしている機能を表示します。

リストボックス

最小、最大、平均読み込み速度

CD-ROM ドライブの、最小、最大および、平均読み込み速度を表示します。

テスト終了

テストの進行状況をパーセントで表示します。

バイト／セクタ

1 セクタあたりのバイト数を表示します。

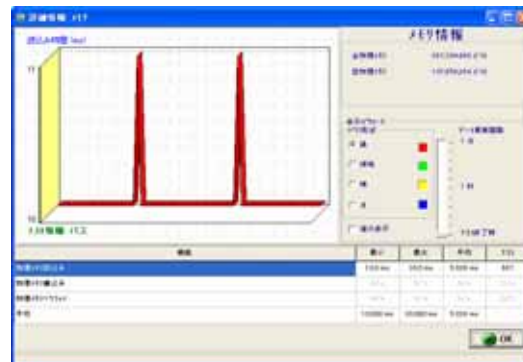
セクタ／クラスタ

1 クラスタあたりのセクタ数を表示します。

全クラスタ

CD-ROM に在る、全クラスタの数を表示します。

メモリ



時間軸グラフ

メモリの読み込みにかかる時間を連続的に表示します。

データ更新間隔

グラフは 1 回のテストが終わる毎に更新されますが、データ更新間隔スライダーを調整する事により最大 1 分間隔まで、任意の間隔を設定することができます。

グラフ形式

グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。

各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択することができます。

値の表示

グラフに数値を表示します。

全物理メモリ

システムに搭載されている物理メモリの合計を表示します。

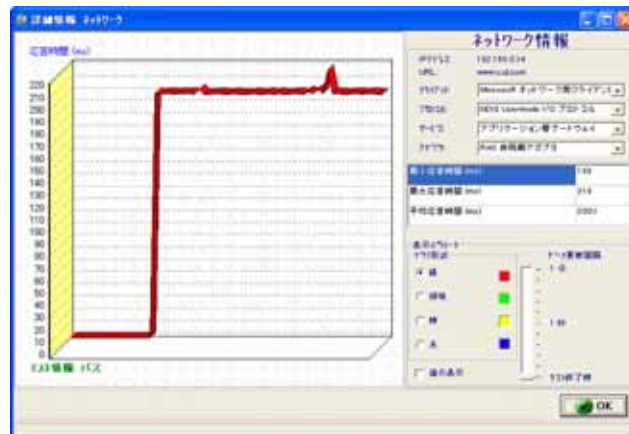
空物理メモリ

未使用の物理メモリのサイズを表示します。

リストボックス

メモリから読み込むのにかかる時間 (最小、最大、平均) を表示します。

ネットワーク



時間軸グラフ

応答時間 (内部ループバック、および Ping の場合) または、転送速度 (ネットワークドライブの場合) を、連続して表示します。

データ更新間隔

グラフは1回のテストが終る毎に更新されますが、スライダーを調整する事により最大1分間隔まで、任意の間隔を設定することができます。

グラフ形式

グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。
各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

値の表示

グラフに数値を表示します。

ネットワーク情報

IP アドレス

コンピュータの IP アドレスを表示します。

URL

テスト設定ウィンドウのネットワークタブで設定してある URL を表示します。

クライアント

インストールされているクライアントのリストを表示します。

プロトコル

インストールされているプロトコルのリストを表示します。

サービス

インストールされているサービスのリストを表示します。

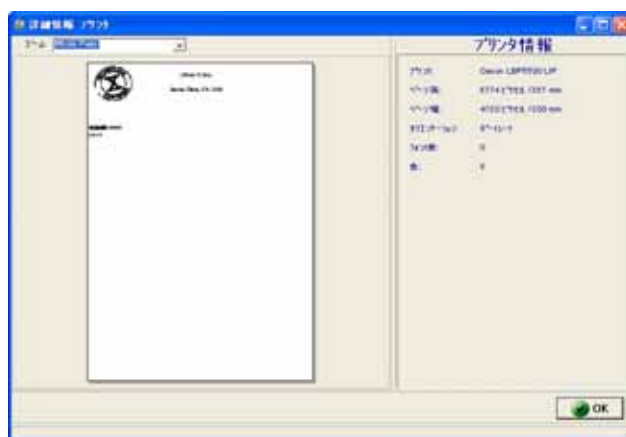
アダプタ

インストールされているアダプタのリストを表示します。

リストボックス

応答時間 (内部ループバック、または Ping の場合)、または転送速度 (ネットワークドライブの場合) の最小、最大、平均値を表示します。

プリンタ



プレビューウィンドウ

テストページのプレビューを表示します。

ズーム

プレビューの倍率を選択します。

プリンタ情報

プリンタ

プリンタの名称を表示します。

ページ高

ページの高さをピクセル数/mm で表示します。

ページ幅

ページの幅をピクセル数/mm で表示します。

オリエンテーション

用紙の向きを表示します。

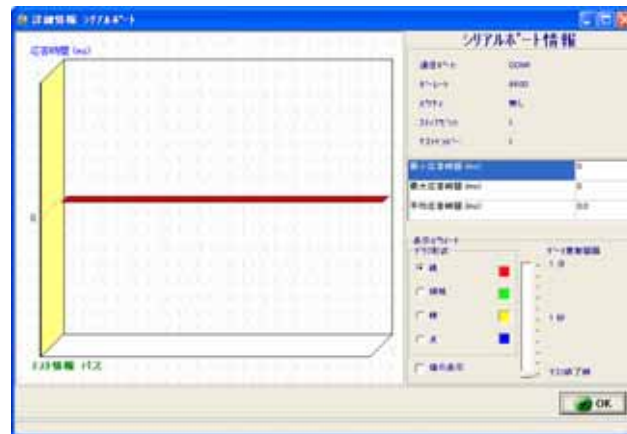
フォント数

プリンタにインストールされているフォントの数を表示します。

色

プリンタの色数を表示します。

シリアルポート



時間軸グラフ

応答時間を連続して表示します。

データ更新間隔

グラフは1回のテストが終わる毎に更新されますが、スライダーを調整する事により最大1分間隔まで、任意の間隔を設定する事ができます。

グラフ形式

グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。

各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

値の表示

グラフに数値を表示します。

シリアルポート情報

通信ポート

テスト中の通信ポートを表示します。

ボーレート

ボーレートを表示します。

パリティ

パリティを表示します。

ストップビット

ストップビットを表示します。

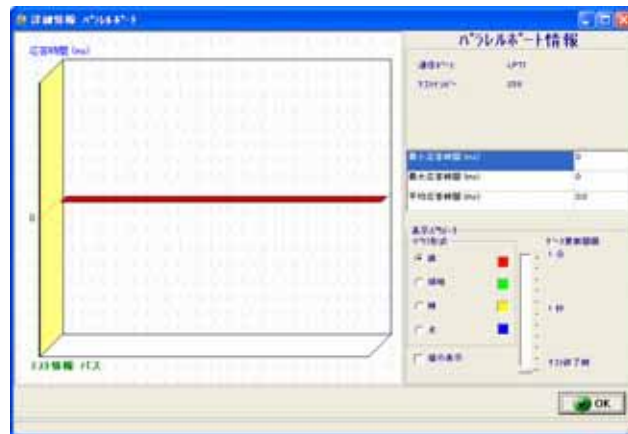
テストナンバー

合格したテスト回数を表示します。

リストボックス

応答時間の最小、最大、および平均時間を表示します。

パラレルポート



時間軸グラフ

応答時間を連続して表示します。

データ更新間隔

グラフは1回のテストが終わる毎に更新されますが、スライダーを調整する事により最大1分間隔まで、任意の間隔を設定する事ができます。

グラフ形式

グラフの表示形式を「線」、「領域」、「棒」、および「点」から選択します。

各ラジオボタン右側のカラーボックスをクリックする事により、表示する色を選択する事ができます。

値の表示

グラフに数値を表示します。

シリアルポート情報

通信ポート

テスト中の通信ポートを表示します。

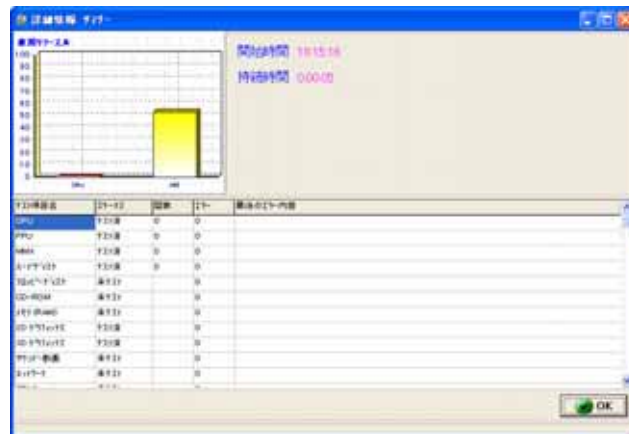
テストナンバー

合格したテスト回数を表示します。

リストボックス

応答時間の最小、最大、および平均時間を表示します。

サマリー



使用リソースグラフ

システムリソースの使用率を表示します。

- 赤 CPU の使用率
- 黄 物理メモリの使用率
- 緑 GDI リソースの使用率
- 青 システムリソースの使用率
- 紫 ユーザーリソースの使用率

※ GDI、システム、およびユーザーリソースは、Windows98、98SE、および Me の場合のみ表示されます。

テストログリストボックス

テスト項目名

テストの項目名を表示します。

ステータス

テストの状況 (テスト済み、または未テスト) を表示します。

回数

正常に実行できたテストの回数を表示します。

エラー

エラーが発生した回数を表示します。

最後のエラー内容

エラーが発生した場合、最後に発生したエラーの内容を表示します。

開始時間

テストを開始した時間を表示します。

持続時間

テストの持続時間を表示します。

テストログウィンドウ



ストレス・テストが終了すると、テストウィンドウが消え、テストログウィンドウが表示されます。

テストログウィンドウでは、14 種類のテストのステータス、ループ回数、エラー発生回数、およびコメントが表示されます。

システムステータス画面の左側には、テストの開始時間、終了時間、テスト経過時間、テスト実行回数、およびログファイル名が表示されます。

テストログリストボックス

テスト名

テストの名称を表示します。

ステータス

テストの結果を Pass、Fail、または Skip のアイコンで表示します。

ループ

正常に実行できたテスト回数を表示します。

エラー

エラーが発生した回数を表示します。

コメント

エラーが発生した場合、最後に発生したエラーの内容を表示します。

メインメニュー ボタン

システムステータス画面を閉じ、メインウィンドウを表示します。

テスト開始 ボタン

ストレス・テストを開始します。

テスト終了 ボタン

ストレス・テストを終了します。

MEMO